

Aperio GT 450

クイックリファレンスガイド

研究用のみ。診断には使用しないでください。

MAN-0392-ja、改訂A | 2019年9月4日

Aperio GT 450 クイックリファレンスガイド

著作権情報

- Copyright © 2019 Leica Biosystems Imaging, Inc. 無断転載・複写を禁止する LEICA および Leica のロゴは Leica Microsystems IR GmbH の登録商標です。Aperio は米国およびオプションとして他の国における Leica Biosystems のグループ企業の商標です。その他のロゴ、製品および/または企業名は、各所有者の商標です。

連絡先情報—Leica Biosystems Imaging, Inc.

本社	カスタマーサポート	一般情報
 Leica Biosystems Imaging, Inc. 1360 Park Center Drive Vista, CA 92081 USA 電話 : +1 (866) 478-4111 (フリーダイヤル) 直通国際電話 : +1 (760) 539-1100	米国/カナダ電話 : +1 (844) 534-2262 (フリーダイヤル) 直通国際電話 : +1 (760) 539-1150 電子メール (米国/カナダ/世界各地) : TechServices@LeicaBiosystems.com	米国/カナダ電話 : +1 (866) 478-4111 (フリーダイヤル) 直通国際電話 : +1 (760) 539-1100 電子メール : ePathology@LeicaBiosystems.com

目次

1.はじめに.....	5	ラックをカルーセルにロードする.....	14
ヘルプビデオ.....	5	カルーセルからラックをアンロードする ..	15
ユーザーガイド.....	5	優先スキャンニング.....	16
スキャナーの概要.....	6	スキャン状況.....	17
タッチスクリーンインターフェースの概要	7	スキャン統計.....	18
スキャンニングのワークフロー.....	8	ラックビュー.....	19
カルーセル回転.....	9	スライドビュー.....	20
主要コンセプト.....	10	ラック順序.....	20
アイコン用語集.....	11	ラック警告.....	21
2.スライドの準備チェックリスト.....	12	4.メンテナンス.....	22
スライド.....	12	メンテナンスのチェックリスト.....	22
カバースリップ.....	12	毎日(推奨).....	22
スライドラベル.....	12	6か月.....	22
バーコード.....	12	年一回.....	22
3.スライドをスキャン.....	13	スキャナーの再起動.....	23
スライドをラックにロードする.....	13	スキャナーをシャットダウンする.....	23

5.トラブルシューティング	24
追加情報	24
シリアル番号およびファームウェアバージョン	24
スキャナーカバーの開閉	25
プッシャーを安全な位置に戻す	26
エラー後の安全な再起動	27
エラーおよび解決法	28
スキャナー内に破損したスライドがある	41
6.索引	42

はじめに

本書には、Aperio GT 450 デジタルスライドスキャナーを使用するための基本的なステップが掲載されています。詳しい情報については、下記を参照してください。

スキャナーをご使用になる前に、ビデオ（タッチスクリーンインターフェースからアクセス可）をご覧ください。

ヘルプビデオ

トレーニングビデオおよび本ガイドは、タッチスクリーンからアクセスできます：



ユーザーガイド

本ガイドに加えて、下記のガイドが入手できます：

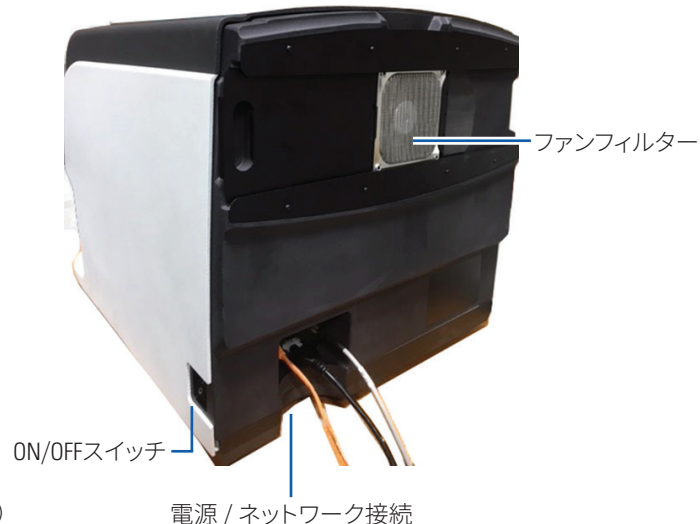
- ▶ *Aperio GT 450 ユーザーガイド*
- ▶ *Aperio GT 450 ITマネジャー/ラボ管理者ガイド*
- ▶ *Aperio GT 450 仕様書*

スキャナーの概要

Aperio GT 450 前面

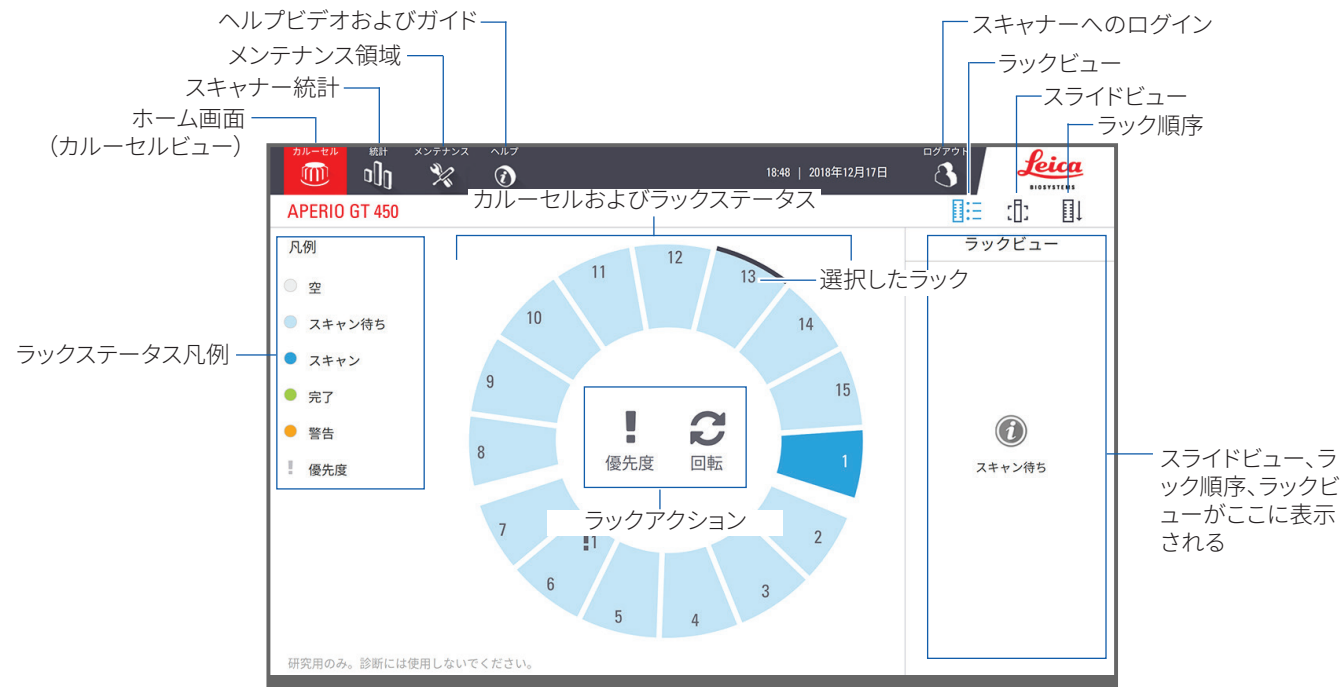


Aperio GT 450 裏面



タッチスクリーンインターフェースの概要

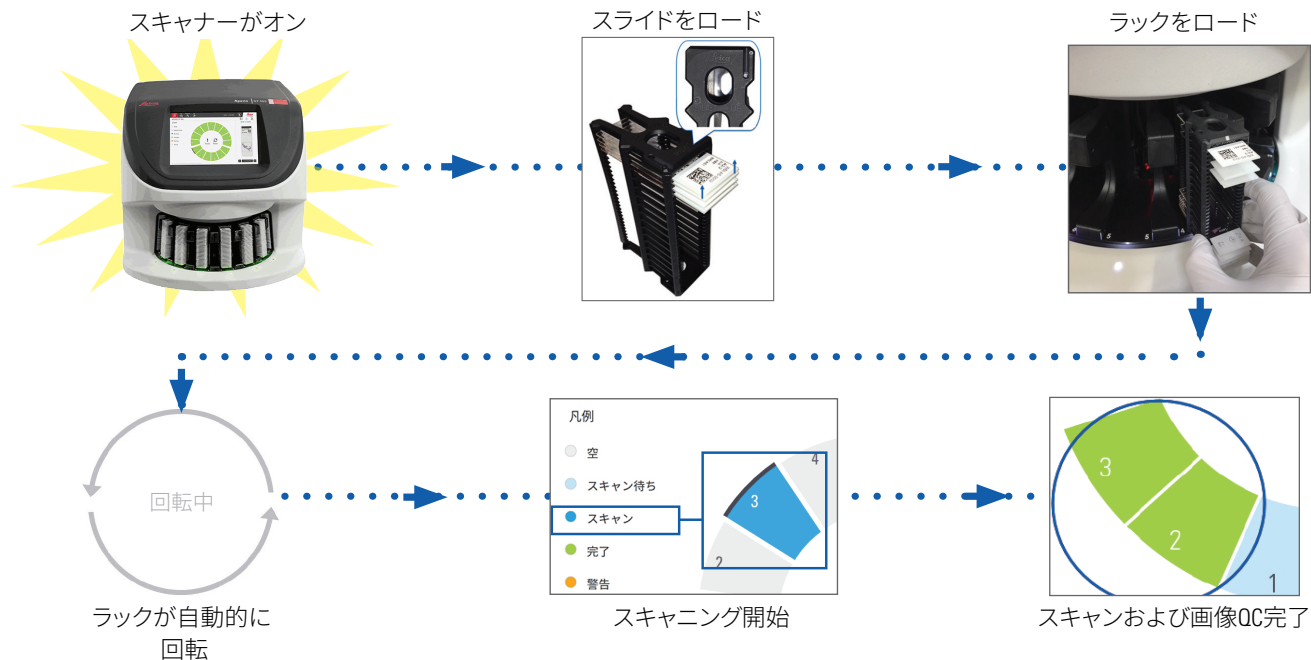
下記の例は、ホーム画面を示します。



ホーム画面 (カラーセルビュー)、スキャナー統計、ヘルプビデオおよびガイドがここに表示される

スキャンニングのワークフロー

このワークフローは、スライドラック1つについてのスキャンニングプロセスを示すものです。ステップバイステップの説明については、13 ページの「スライドをスキャン」をご覧ください。



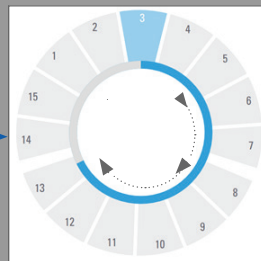
カルーセル回転

カルーセルは、ラックをロードした後で自動的に回転します。

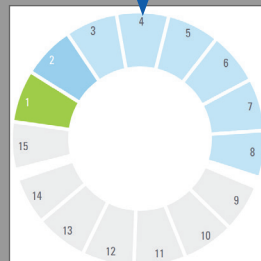
ロードされたラック



10秒後にカルーセルが
回転します



1. ラックは、ロードされ
た順序でスキャン領域
に回転します



2. 空きラックが最も多いス
ロットが回転して前方にき
ます

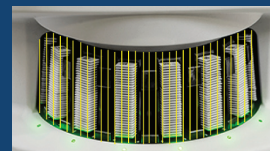


警告:カルーセルの回転中は、カルーセルおよびピンチポイントエ
リアには触らないでください。



安全性ライトカーテン

赤外線的安全性ライト
カーテンは、ローディン
グエリア内の物体を検
出します:



物体がライトカーテン
を遮ると:

- カルーセルは回転
しません
- 10秒タイマーが再
開されます

主要コンセプト

スキャナーの設定	ラボ管理者がスキャンの設定を定義し、PINコードを設定します。
スキャンの倍率	Aperio GT 450は常に40倍でスキャンします。
ラックスキャンニング	設定の優先順位など、すべてのアクションは、スライドラック全体 (個別のスライドではなく) に適用されます。
画像の品質	自動画像QC機能は、各スライドがスキャンされる際に、画像品質を自動的にチェックします。ラックのステータスが緑色である場合、スキャンおよび画像QCはラック内のすべてのスライドについて成功したことを示します。
スライドの校正	それぞれのスライドは、スキャン時に校正されます。
連続ロード	Aperio GT 450は、連続ロード式スキャナーです。新しいラックのロードと完了済みのラックのアンロードを、中断なく継続することができます。
自動カルーセル回転	カルーセルは、ラックを自動的に回転させます。詳しくは、9 ページの「カルーセル回転」を参照してください。
視覚的ステータスインジケータ	タッチスクリーンのカルーセルビューおよびラックスロット前部のステータスライトは、リアルタイムのステータスを提供します。
PINコード / スキャナーログイン	スキャナーがPINコードを求めてきた場合、ラボ管理者によって提供された5桁のコードを入力します。

アイコン用語集

以下のアイコンが、タッチスクリーンインターフェース上に表示されます。



カルーセル – カルーセルビュー (ホームスクリーン)。



統計 – スキャナー統計。(18 ページを参照。)



ヘルプ – 説明ビデオおよびユーザーガイド。



ログイン – スキャナーログイン、ここに5桁のPINコードを入力する。



ログアウト – タッチスクリーンインターフェースをロックする。



スライドビュー – スキャン済みスライドのマク口画像。(20 ページを参照。)



ラック順序 – ラックについてのスキャン順序。(20 ページを参照。)



ラックビュー – 選択されたラック内の各スライドについてのスキャンステータス。(19 ページを参照。)



スキャン完了 – ラックビューで、スキャンが完了し、画像QCに合格し、かつ画像が指定された画像位置に保存されたスライドを示す。(19 ページを参照。)



スライド警告 – ラックビューで、スライドの問題について警告する。(21 ページを参照。)



優先順位スキャン – カルーセルビューおよびラックビューのラック位置で、ラックの優先スキャン順序 (1~3) を示す。(16 ページを参照。)



回転 – カルーセルの回転中にタッチスクリーンインターフェース上に表示される。

■ スライドの準備チェックリスト

スライド

- ❑ 製造者の説明書に従い染色したスライド。
- ❑ スライドは清浄。清潔なリントフリーの布で拭う(化学洗浄剤は使用しない)。
- ❑ ごみ、指紋、マーキング、書き込み、余分な封入剤、破損したスライド、チップ、またはかき傷がないこと。
- ❑ スライドは完全に乾いた状態である(「湿潤」でない)。
- ❑ スライドのエッジ周辺に封入剤がないこと。
- ❑ 組織が、カバースリップのエッジ上に、またはラベルと重なっていないこと。
- ❑ 染色剤の残留物がスライドのエッジ周辺にないこと。

カバースリップ

- ❑ 完全に乾いたカバースリップ所定の位置にあること。
Aperio GT 450では、カバースリップを必ず使用すること。
- ❑ 最小限の封入剤を使用する。
- ❑ カバースリップの下にエアークケットがないこと。
- ❑ カバースリップがスライド面上にかかっていないこと。
- ❑ スライド当たり1枚のカバースリップのみ。

スライドラベル

- ❑ スライド当たり1つのラベルのみ。
- ❑ ラベルがスライドのエッジをはみ出さないこと。
- ❑ ラベルは組織を一切覆わないこと。
- ❑ ラベルがカバースリップの下にないこと。
- ❑ ラベルがしっかりと取り付けられていること。
- ❑ ラベルがスライドの下面に貼り付けられていないこと。

バーコード

- ❑ バーコードラベルはスライドラベルと同じアプリケーション要件を満たすこと。
- ❑ バーコードラベルがスライドラベルエリアに貼られていること。
- ❑ スライド当たり1つのバーコードラベルのみ。
- ❑ サポートされたバーコードラベルのみを使用すること。
- ❑ 高品質の印刷されたバーコードラベルのみを使用すること。

■ スライドをスキャン

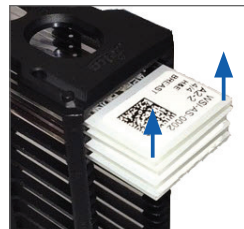
本セクションは、スライドをスキャンするための手順を記載しています。

スライドをラックにロードする

1. ラック上のLeicaロゴおよび「SIDE UP (この面を上)」のテキストが上を向いていることを確認します。



2. スライドラベルが外向きかつ上向きであることを確認します。



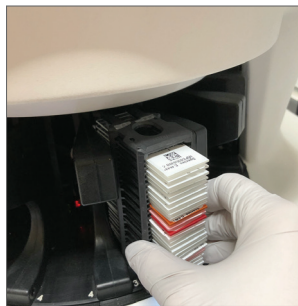
3. ラックの後部に接するまでスライドをラックに押し込みます。



ラックをカラーセルにロードする

スライドは、ロードされた順序でスキャンされます。

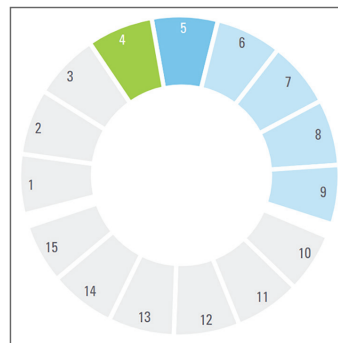
1. カラーセル内のオープンスロットにロード済みのラックを、13 ページに示す向きに配置します。
2. ラックが止まるまで前方に押します。



ラックが完全に挿入されるとカチッと音がして、ホーム画面上のラック位置が薄い青色になります。

3. 必要に応じて、または前面のラックスロットが6つ埋まるまで、ラックのロードを続けます。
4. カラーセルがさらなる空のラックスロットをローディングエリアに回転させるまで待ちます。

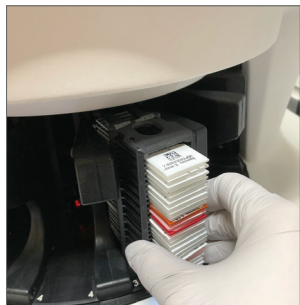
5. 必要に応じてラックのロードを続けます。
6. ラックが無事にスキャンされると、ラックのステータスは緑色に変わります。



7. これで、完了済みのラックを取り外して、別のラックをロードすることができます。

カルーセルからラックをアンロードする

1. ラックをラックスロットから取り外します。

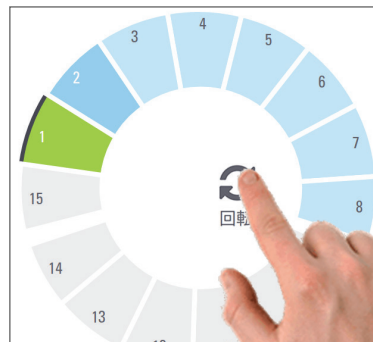


ローディングエリアにないラックをアンロードするには:

1. ラック位置をタップします。



2. **回転**をタップして、ラックをローディングエリアまで回転させます。



3. ラックが前側に回転した後、ラックを注意深く取り外します。

優先度のスキャンニング

優先度を使用して、一つ以上のラックをスキャンキューの前方に移動します。優先度オプションは、一度に最大3つのラックに適用できます。

1. ラック位置をタップします。



2. 優先度をタップします。



以下のように優先度アイコンおよびスキャンキューの数字が表示されます。



3. ラックのスキャン順序を表示するには、19 ページを参照してください。

i 優先度をキャンセルするには、ラックを取り外す必要があります。

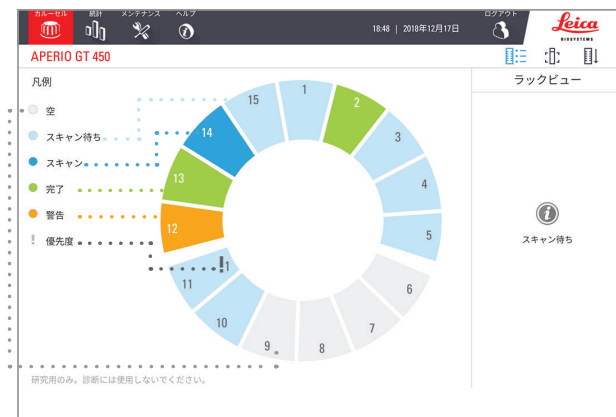
スキャン状況



注意: ラック内のすべてのスライドがスキャンされる前にラックを取り出す必要がある場合は、ラックとスライドのステータスをメモに取ってください。取り出した後は、ラックのステータスが利用できなくなります。

ラックのスキャンステータスをチェックするには:

1. 凡例に対してラック位置のステータス色をチェックします:



2. ラックのステータス:

空	ラックは空で、使用できます。
完了	ラック内のすべてのスライドが無事にスキャンされ画像QCに合格しました。スキャン済みの画像は特定の位置に保存されます。
スキャン中	ラックは現在スキャン中です。
スキャン待ち	ラックのロードが完了し、スキャン待ちです。
警告	ラック内の一つ以上のスライドに問題があります。21 ページを参照してください。
優先度	ラックが優先スキャンニングに設定されています (16 ページを参照)。

現在のスキャンでラックエラー

現時点でスキャン中のラック内の少なくとも1つのスライドに問題がある場合、ラック位置に青色とオレンジ色が点滅します。21 ページを参照してください。

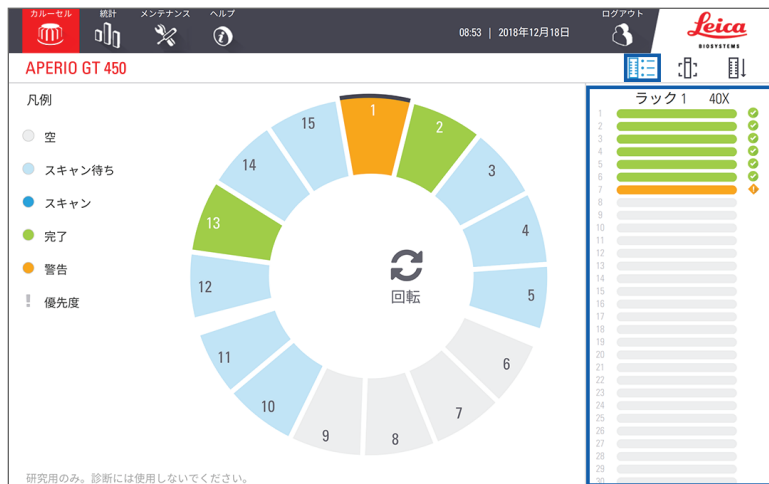
スキャン統計

スキャン統計を表示するには、**統計**をタップします。統計の時間枠を変更するには、グラフの上のボタンをタップします。



ラックビュー

1. **ラックビュー**アイコンをタップして、ラック内の各スライドについてのスキャンステータスを表示します。



スライドステータスの色は、凡例に対応します:

	スライドはスキャン中
	スライドはスキャンを待機中
	スライドのスポットが空
	スキャンされた画像は特定の画像の場所にうまく転送されました。
	スキャンされた画像が作成されませんでした。(21 ページを参照。)
✓	スライドは無事にスキャンされ、画像QCに合格し、指定された画像の場所に転送済みです。
!	スライドには警告があります。(21 ページを参照。)

スライドビュー

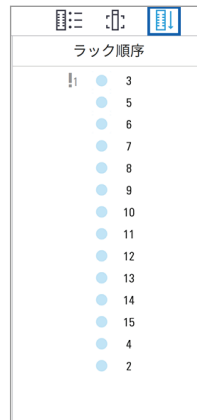
1. タッチスクリーン上でタップしてラックを選択します。
2. 選択したラックの個別の画像の**スライドビュー**アイコンをタップします。



- < および > をタップして、ラック内のその他のスライドを表示します。
- 任意の組織がスキャンエリア(緑の四角形)外にある場合、**スライド全体をスキャン**をタップして、スライド全体を再スキャンできます。
- スライドのスキャンにエラーがある場合、ボックス内にメッセージが表示されます。(21 ページを参照)

ラック順序

1. **ラック順序**アイコンをタップして、ラックのスキャン順序を表示します。



- リストのラックがスキャン順に表示されます。
- スキャンステータスが、各ラックについて示されます。
- 例では、ラック3が優先に設定されています。

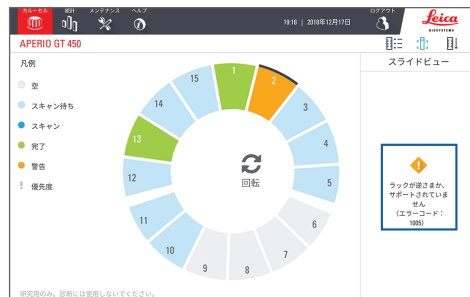
ラック警告

オレンジ色のラック位置は、そのラックの問題、またはそのラック内の一つ以上のスライドの問題を示します。

1. 警告のあるラック位置をタップして選択します。
2. エラーメッセージおよび数字をメモして、28 ページの「エラーおよび解決法」に移動します。

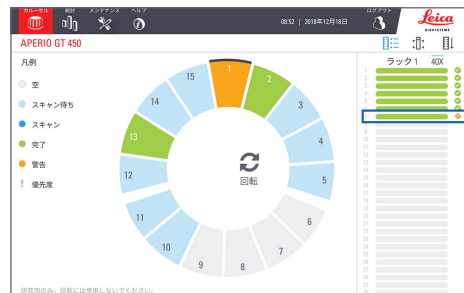
ラックの問題:

エラーメッセージおよび数字が表示されます。

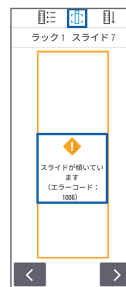


スライドの問題:

ラックビュー内のオレンジ色警告シンボル  は、スライドエラーを示します。



スライドのエラーメッセージおよび数字がスライドビューで表示されます。



■ メンテナンス

メンテナンスのチェックリスト

スキャナーの性能および画像の品質を最大化するには、この推奨されるメンテナンススケジュールに従ってください。

毎日 (推奨)

- スキャナーを再起動します。(23 ページを参照。)

6か月

- 対物レンズとケーラーの清掃
- ステージスライドトレイの清掃
- カルーセルの清掃
- スライドラックの清掃
- ファンフィルターの清掃
- タッチスクリーンの清掃
- スキャナーカバーの清掃

6か月メンテナンス手順は、*Aperio GT 450* ユーザーガイドの「メンテナンス」の章に記載されています。

年一回

- Leica Biosystems テクニカルサービスの年次メンテナンス訪問。(予定を立てるには、Leica Biosystemsまでお問い合わせください。連絡先の詳細については2 ページを参照してください。)

スキャナーの再起動

メンテナンスのために、スキャナーを一日一回再起動してください。



注意: スライドをステージに付けたままスキャナーを再起動すると、スライドを損傷することがあります。

1. すべてのラックが取り出され、スライドがスキャン中ではなく、表示されるエラーがないことを確認してください。
2. **メンテナンス**をタップしてから、**スキャナーの再起動**をタップします。



初期化が完了しホーム画面が表示された後に、スキャナーを再び使用することができます。

スキャナーをシャットダウンする

スキャナーの電源を安全に切る手順を使用します。

1. タッチスクリーンインターフェースから、**メンテナンス**をタップします。



2. **スキャナーのシャットダウン**をタップします。
3. タッチスクリーンが暗くなった後、オン/オフスイッチを使用してスキャナーの電源を切ります。

■ トラブルシューティング

本セクションは、いくつかのよく見られるトラブルシューティングの問題および解決法を記載しています。トラブルシューティング問題の完全なリストについては、*Aperio GT 450 ユーザーガイド*を参照してください。

追加情報

- ▶ **Aperio GT 450 ユーザーガイド**には、総合的な「トラブルシューティング」の章が含まれています。
- ▶ タッチスクリーンインターフェースから利用可能なメンテナンスビデオには、よくあるトラブルシューティング手順が含まれています。**メンテナンス**をタップしてから、**メンテナンスビデオ**をタップします。

シリアル番号およびファームウェアバージョン

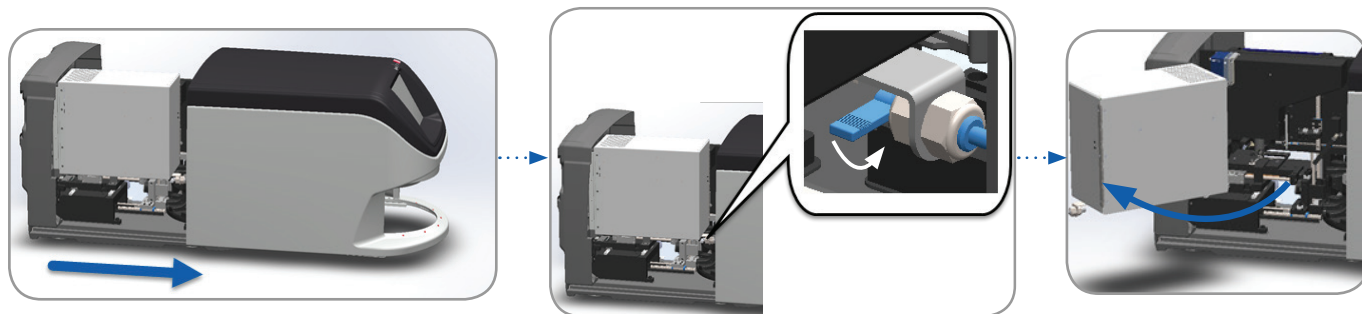
Leica Biosystems テクニカルサポートに問い合わせる際には、シリアル番号および現在のソフトウェアバージョンが必要となります。

- ▶ タッチスクリーン上の**メンテナンス**をタップして、シリアル番号、ファームウェアバージョン、およびその他のシステム情報を表示します。
- ▶ シリアル番号とファームウェアのバージョンはAperio GT 450 SAMアプリケーションソフトウェアからも利用可能です。*Aperio GT 450 ITマネージャー/ラボ管理者ガイド*を参照してください。

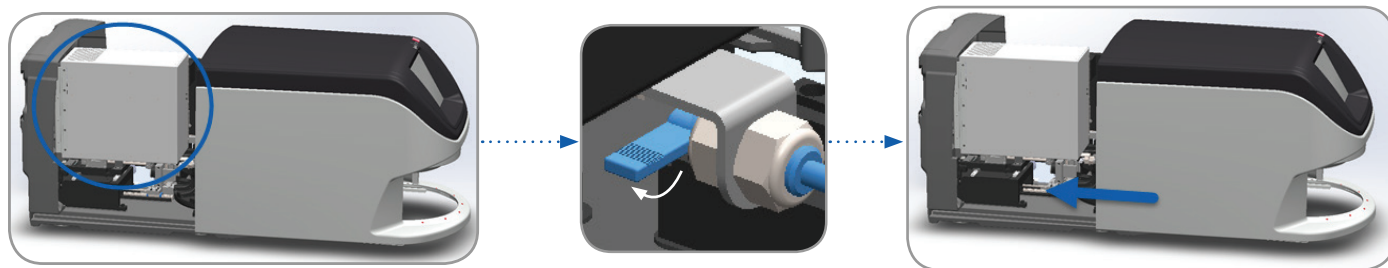
スキャナーカバーの開閉

一定のメンテナンスおよびトラブルシューティング作業を実施するにはカバーを開く必要があります。スキャナーの開閉方法についての詳細は説明は、スキャナーのユーザーガイドを参照してください。

カバーを開く



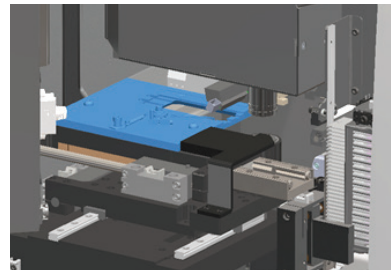
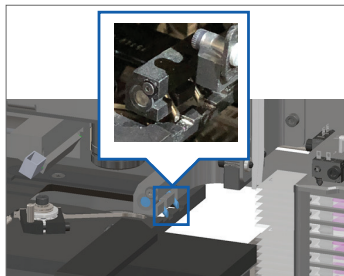
カバーを閉じる



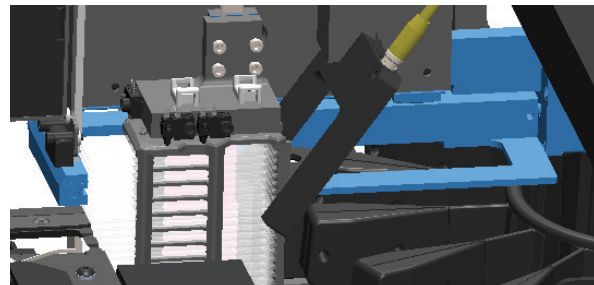
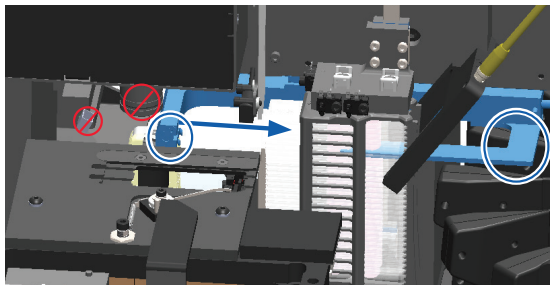
プッシャーを安全な位置に戻す

トラブルシューティング手順で、プッシャーを安全な位置に戻すことが求められる際に、これらの手順に従います。

1. プッシャーの歯をスライドのステージ溝と揃えます:
2. ステージをスキャナーの後方にスライドさせます:



3. プッシャーを青色の丸のエリアの1つで保持し、LEDおよび対物レンズに当たらないようにします。
4. 図示した通り、プッシャーをスキャナーの前部にスライドさせます。



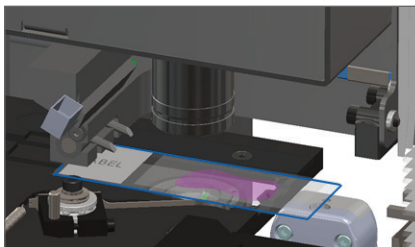
エラー後の安全な再起動

一部の手順では、スキャナーの再起動が求められます。スキャナーを再起動すると、コントローラが初期化され、ステージおよびAutoloaderがそれらのホーム位置に置かれます。スキャナーを再起動する前に、ステージ上にスライドがないことを確認する必要があります。

1. カバーを開き、内部にアクセスします (25 ページを参照)。

2. スライドがステージ上にあること、または部分的にステージ上にあることをチェックします。

3. 周囲の構成要素に触れずにスライドをステージから注意深く取り外します。



注意: スライドをステージに付けたままスキャナーを再起動すると、スライドを損傷することがあります。

4. プッシャーを、26 ページの「プッシャーを安全な位置に戻す」に示す格納された (安全な) 位置に戻します。

5. VPUおよびスキャナーカバーを閉じます (25 ページを参照)。

6. タッチスクリーンインターフェース上の**メンテナンス**をタップしてから、**スキャナーの再起動**をタップします。

エラーおよび解決法



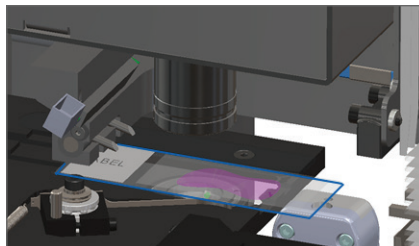
注意: ラック内のすべてのスライドがスキャンされる前にラックを取り出す必要がある場合は、まずラックとスライドのステータスをメモに取ってください。取り外した後はラックのスキャンステータスは利用できなくなります。

エラーコード1000

内部エラー

1. カバーを開き、内部にアクセスします (25 ページを参照)。
2. Leica Biosystems テクニカルサービスに送るために、障害物があればその写真を撮ってください。

3. スライドがステージ上にあること、または部分的にステージ上にあることをチェックします。
4. 周囲の構成要素に触れずにスライドをステージから注意深く取り外します。



注意: スライドをステージに付けたままスキャナーを再起動すると、スライドを損傷することがあります。

5. プッシャーが延びた状態の場合には、26 ページの「プッシャーを安全な位置に戻す」で描写したとおり、プッシャーを安全な位置に戻します。
6. VPUおよびスキャナーカバーを閉じます (25 ページを参照)。
7. **スキャナーの再起動**をタップし、スキャナーが再起動のプロセスを完了するのを待ちます。

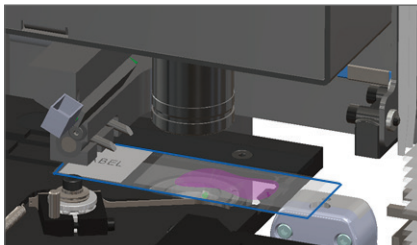
エラーコード1001

スキャナーが初期化できません

1. カバーを開き、内部にアクセスします (25 ページを参照)。

2. スライドがステージ上にあること、または部分的にステージ上にあることをチェックします。

3. 周囲の構成要素に触れずにスライドをステージから注意深く取り外します。



注意: スライドをステージに付けたままスキャナーを再起動すると、スライドを損傷することがあります。

4. プッシャーが延びた状態の場合には、26 ページの「プッシャーを安全な位置に戻す」で描写したとおり、プッシャーを安全な位置に戻します。

5. VPUおよびスキャナーカバーを閉じます (25 ページを参照)。

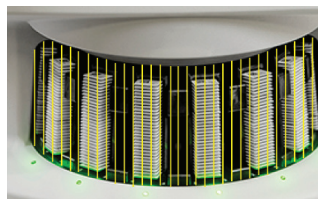
6. 23 ページのステップを使用して、スキャナーをシャットダウンします。

7. スキャナーの電源をオンにして、初期化処理が完了するのを待ちます。

エラーコード1002

カルーセルを回転できません。

1. ラックローディングエリアおよびピンチポイントに何か予期しない物体がないかチェックします:

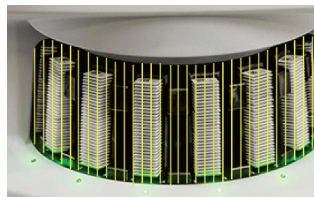


2. Leicaロゴが上向きで、かつラックの外にあること、またラックがカルーセル内に完全に挿入されていることを確認します。
3. すべてのスライドがラック内に完全に挿入されていることを確認します。
4. ラックローディングエリア内にその他の障害物がないかチェックします。
5. 障害物がなく、かつカルーセルがなおも回転しない場合、27 ページの「エラー後の安全な再起動」にある手順に従います。

エラーコード1003

カルーセルを回転できません。カルーセルのピンチポイントが塞がれています。

1. ラックローディングエリアおよびピンチポイントに何か予期しない物体がないかチェックします:



2. 障害物がなく、かつカルーセルがなおも回転しない場合、27 ページの「エラー後の安全な再起動」にある手順に従います。

エラーコード1005

ラックを処理できません

1. ラックが正しく挿入されていることを確認します。
(14 ページを参照。)
2. ラックを取り外してチェック:
 - 対応しているラックを使用しています。
 - ラックが損傷していないこと。
3. エラーが、1つのラックでのみ発生することを確認します。エラーが複数のラックで発生する場合、Leica Biosystems テクニカルサービスまでお問い合わせください。
4. ラックが対応しており、かつ損傷がない場合、スキャニング用のカラーセルに再挿入してください。
5. スキャナーがまだラックを処理しない場合、Leica Biosystemsテクニカルサービスまでお問い合わせください。

エラーコード1006

ラック内の一つ以上のスライドが処理できません

1. エラーのあるラックをタップしてから、**ラックビュー**をタップして、どのスライドにエラーがあるかを特定します。
2. **スライドビュー**をタップして、スライドのマクロ画像を表示し、以下をチェックします:
3. 32 ページの「エラーコード1006のスライドエラーメッセージ」に移動し、特定のスライドエラーについての手順に従います。

エラーコード1006のスライドエラーメッセージ

どのスライドにエラーがあるかを識別した後、以下の適切なステップに従ってください。

エラー メッセージ	対処方法
スライドが傾 いています	1. ラックをカルーセルから取り外します。 2. 複数のラックスロット間で傾きのあるスライドを見つけて取り外します。 3. スキャニング用に新しいラックにそのスライド挿入し、一つのスロット内で水平になっていることを確認します。 4. ラックをスキャニング用の空のラックスロットに挿入します。
バーコードが ありません	1. スライドおよびラックが正しく挿入されていることをチェックします。 2. バーコードがスキャナーのユーザーガイドに記載されている仕様および最小品質要求を満たしていることを確認します。
組織がありま せん	1. スライドに組織があることを確認します。 2. スライド番号をメモします。 3. ラックを回転して取り出し、スライドにアクセスします。 4. ラックからスライドを取り出した後、スライドをきれいにします。 5. 新しいラックにスライドを再挿入して、再度スキャンします。 6. 問題が持続する場合、スライドの準備エラーがないかチェックします。

エラー メッセージ	対処方法
マクロフォーカスがありません	1. スライドおよびラックが正しく挿入されていることをチェックします。13 ページを参照してください。 2. スライドのトレイが汚れていないことをチェックします。 3. 染料の品質をチェックします。 4. スライドおよびカバースリップが、Aperio GT 450 仕様書に記載された要件を満たしていることをチェックします。 5. よく見られるスライドの準備エラーがないかチェックします。12 ページの「スライドの準備チェックリスト」を参照してください。
画像品質	1. Aperio ImageScopeでスキャンされたスライド画像を確認します 2. よく見られるスライドの準備の問題がないかチェックします。12 ページの「スライドの準備チェックリスト」を参照してください。 3. スライドを再度スキャンします。スキャンが終了した時に、スキャナーからラックを取り出さないでください。 4. Aperio ImageScopeで新しくスキャンされたスライド画像を確認します。 5. 問題が持続する場合は、スライドビューにスライドを表示し、スライド全体をスキャンをタップします。 6. 他のスライドに焦点があっていないかチェックします。 7. すべてのスライドのピントが合っていない場合は、対物レンズの清掃を行います。(スキャナーユーザーガイドの「メンテナンス」の章を参照してください。)

エラー メッセージ	対処方法	
画像転送エラー - 再試行待ち	一部のスライドでエラーメッセージが表示される場合： システムは多くの場合、介入なしにこの問題を解決します。 1. ラック内のすべてのスライドがスキャンを終了したら、ラックを取り出してください。 2. eSlideマネージャーで画像を確認します。 3. 必要な場合は、eSlideマネージャーに見つからないスライドを再スキャンしてください。	すべてのスライドでエラーメッセージが表示される場合： ラボ管理者は以下を実施してください。 1. スキャナーからDICOMサーバーへの接続、DICOMサーバーから施設の画像ストレージ場所への接続を確認します。 2. 施設の画像ストレージ場所が一杯かどうかを確認します。 3. 問題が持続する場合、Leica Biosystemsテクニカルサービスに連絡する前に貴社のITプロフェッショナルとご相談ください。

エラー メッセージ	対処方法	
中止	一部のスライドでエラーメッセージが表示される場合：	すべてのスライドでエラーメッセージが表示される場合：
	1. 破損またはよく見られるスライドの準備の問題がないかチェックします。(12 ページを参照。) 2. スライドを洗浄します。 3. 異なるラックにスライドを挿入して、再度スキャンします。	1. カルーセルからすべての完了したスライドラックを取り外します。 2. カバーを開き、内部にアクセスします。(25 ページを参照。) 3. ステージにスライドがある場合は、それを取り除いてください。(27 ページ、ステップ2を参照。) 4. スキャナーカバーを閉じます。 5. スキャナーをシャットダウンします(23 ページを参照。) 6. ON/OFFスイッチを使用してスキャナーの電源を入れ直します。 7. スキャナーが残りのラックをスキャンできるようにします。

エラーコード1007

内部ストレージがいっぱいです - DICOMコンバーターに画像を送信できません。

ラボ管理者がこれらの手順を実施すべきです。

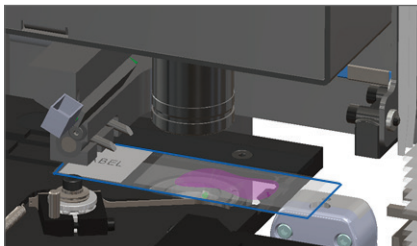
1. LANケーブルが、スキャナーLANポートとSAMサーバーに接続されていることを確認します。
2. ネットワーク診断を実行します。
3. DICOMサーバーが実行中であることを確認します。必要に応じて、DICOMサーバーを再起動します。
4. 問題が持続する場合、Leica Biosystems テクニカルサービスまでお問い合わせください。

エラーコード2000

スライドのステージ、ラック、またはプッシャーでのスライド取扱いエラー

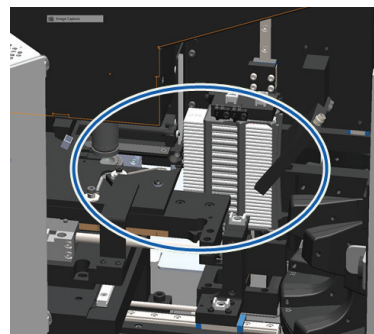
1. スキャナーカバーを開き、内部にアクセスします。25 ページを参照してください。
2. Leica Biosystems テクニカルサービスに送るために、障害物の写真を撮ります。

3. スライドがステージ上にあること、または部分的にステージ上にあることをチェックします。
4. 周囲の構成要素に触れずにスライドをステージから注意深く取り外します。



注意: スライドをステージに付けたままスキャナーを再起動すると、スライドを損傷することがあります。

5. スライド ステージ、ラック、および プッシャーの近くに障害物がないか確認します。
6. できれば、障害物の原因となっているスライドを注意深く取り外し、手順8を続行します。
7. 障害物を取り除けない場合、または問題が持続する場合、Leica Biosystems テクニカルサービスまでお問い合わせください。





警告:破損したスライドの回復は試みないでください。Leica Biosystems テクニカルサービスに問い合わせてください。

8. カバースリップおよびラベルの張り出しの問題など、スライドの準備に問題がないかチェックします。
 - a. スライドの準備の問題がない場合、スキャンングに使用可能なラックにスライドを挿入しなおします。
 - b. スライドの準備の問題がある場合、スキャンング前にスライドの問題を修正します。
9. プッシャーが延びた状態の場合には、26 ページの「プッシャーを安全な位置に戻す」で描写したとおり、プッシャーを安全な位置に戻します。
10. スキャナーカバーを閉じます。(25 ページを参照。)
11. **スキャナーの再起動**をタップします。

エラーコード2001

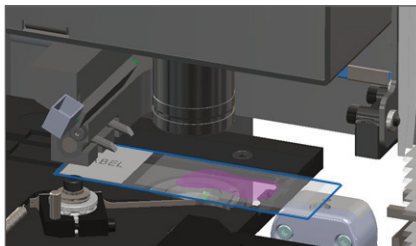
ラックグリッパー、リフト、またはカルーセルでのスライド取扱いエラー

1. スキャナーカバーを開き、内部にアクセスします。25 ページを参照してください。

2. Leica Biosystems テクニカルサービスに送るために、障害物の写真を撮ります。

3. スライドがステージ上にあること、または部分的にステージ上にあることをチェックします。

4. 周囲の構成要素に触れずにスライドをステージから注意深く取り外します。

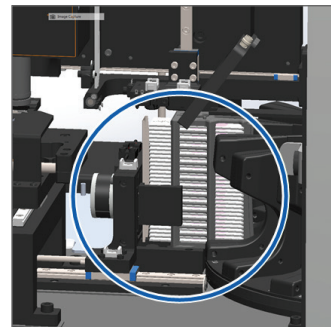


注意: スライドをステージに付けたままスキャナーを再起動すると、スライドを損傷することがあります。

5. ラックグリッパー、リフト、およびカルーセルの近くに障害物がないかチェックします。

6. スキャナーカバーを閉じます。25 ページを参照してください。

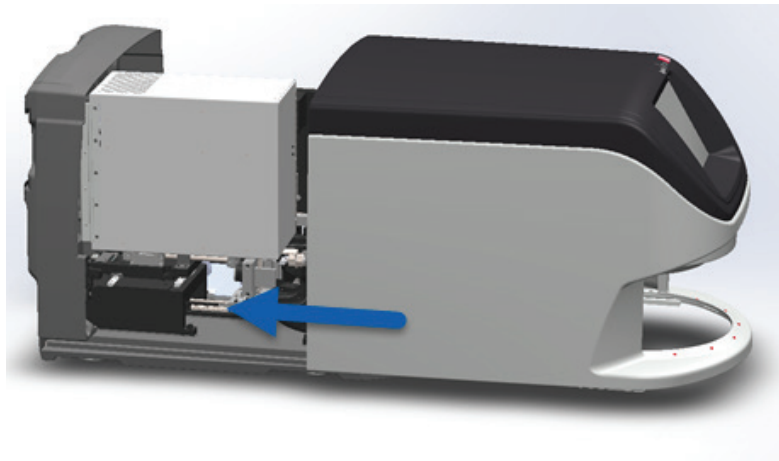
7. Leica Biosystems テクニカルサービスに問い合わせてください。



エラーコード9000

スキャナーカバーが開いています。

1. カバーを閉じた位置までスライドさせ、カバーが後部のラッチと整列してカチッと音がすることを確認します:



スキャナー内に破損したスライドがある



警告:破損したスライドの回復は試みないでください。Leica Biosystems テクニカルサービスに問い合わせてください。

損傷箇所の写真を撮ります。Leica Biosystems テクニカルサービスは、サポート提供の際に写真を求めることがあります。

■ 索引

V

VPU、開閉 25

A

アイコン用語集 11

エラー、ラック 17

エラーコードおよび解決法 28

カ

カバー、開閉 25

カバーを開く 25

カバーを閉じる 25

カバースリップ 12

カラーセル 9

キュー、スキャン 20

サ

シリアルナンバー、場所 24

スキャナー

シャットダウン 23

再開する 23

スキャナーのシャットダウン 23

スキャナーの概要 6

スキャナーの再起動

エラー後 27

毎日のメンテナンス 23

スキャナー内で壊れたスライド 41

スキャン 17

スキャンエラー 17

スキャンスライド 13

スキャン設定 10

スキャンの倍率 10

スケジュール、メンテナンス 22

ステータスライト 10

スライド 19

プリパレーション 12

ラベル 12

スライドステータス 19

スライドビュー 20

スライド搭載 13

スライド取扱いエラー 37, 39

スライドを挿入 13

ソフトウェアバージョン、場所 24

タ

タッチスクリーンインターフェース 7

トラブルシューティング 24

ハ

バーコード 12
バーコードがない 32
バーコードエラー 32
ピンチポイント、カラーセル 9
ファームウェアバージョン、場所 24
プッシャー、位置 26
ホーム画面 7
ボタン 11

マ

マクロフォーカスエラー 33
マクロフォーカスできない 33
マクロ画像 20
メンテナンス
スケジュール 22
チェックリスト 22

ラ

ライトカーテン、安全性 9
ラック 17
アンロード 15
エラー 17
カラーセルにロード 14
スライドのロード 13
順序 20
警告 21
表示 19
ラックをアンロード 15
ラックを取り出す 15
ラベル、スライド 12

ワ

ワークフロー、スキャン 8

か

画像品質 10
回転 15
回転、カラーセル 9
警告、ラック 21
壊れたスライド 41

さ

自動画像QC 10
準備、スライド 12
組織が見つからない 32

た

統計 18

は

倍率 10
凡例 17
凡例、ラックスステータス 17

や

優先スキャン 16

ら

連続ロード 10

LeicaBiosystems.com/Aperio



Copyright © 2019 Leica Biosystems Imaging, Inc.
無断転載・複写を禁止する。LEICAおよびLeicaのロゴはLeica Microsystems IR GmbHの登録商標です。

MAN-0392-ja、改訂A - 9/2019